

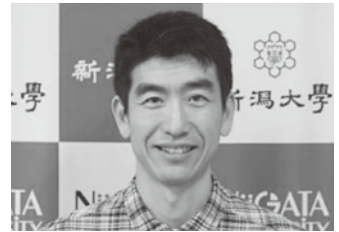
新潟大学
朱鷺・自然再生学研究センター
センター長 山岸 哲
(新潟大学特任教授・山階鳥類研究所名誉所長)

新潟大学におきましては、研究推進機構超域学術院の「超域朱鷺プロジェクト」として、トキをシンボルとした自然再生と地域創りに関する総合的な研究を進めており、平成22年4月にはプロジェクトの研究拠点となる「朱鷺・自然再生学研究センター」を佐渡市に設置するとともに、平成23年5月には、佐渡市から全面的にご協力いただき、寄附講座をセンターに設置することができました。

5月1日には寄附講座教員2名も配置させていただきましたが、各学部や客員教員等ともチームを組んで、教育・研究体制の充実を図ることとしております。

今後、センターでは、佐渡をモデルとした自然再生学の確立と国際的教育・研究拠点の形成、さらには、生物多様性に基づいた農林水産業の振興に寄与することができるよう、ますますプロジェクトを発展充実させてまいりますので、ご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

最後に、研究チームを代表する教員および寄附講座教員をご紹介させていただきます、私からの寄附講座設置のご報告とお礼とさせていただきます。



環境・経済好循環分野研究チーム
リーダー 新潟大学准教授 西川 潮
東京都出身。1992年北海道大学水産学部卒業、2001年ニュージーランドオタゴ大学博士(PhD)。専門分野: 保全生物学(主な研究テーマは、農地の再生手法の開発、生物多様性指標の解明)

自然環境の保全・再生と経済発展は相反するものと思われていますが、佐渡にはこれらの両立を可能にする「場」があります。研究プロジェクトでは、佐渡の主要な第一次産業である稲作農業を中心として、農地の持続的な再生手法の開発を目指します。この目的のためには、生態学、食品化学、農業経済学、環境経済学、数理など、さまざまな分野の研究者が連携して異分野融合型の研究を進めていく必要があります。そのため、研究プロジェクトには、2名の寄附講座教員以外にも、学内外から当該分野の一流の研究者に協力していただきます。新潟大学からは大坪研一教授(米の食味評価)、甲南大学からは柘植隆宏准教授(農業者の環境保全型農業の取組に対する意識の解明)、筑波大学からは氏家清和助教(消費者の米購買行動の解明)、国立環境研究所からは横溝裕行研究員(農地の順応的管理システムの検証)が参画いたします。研究グループ一同、トキをシンボルとした農地の再生と地域の再生に関わる研究に取り組みますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

水田生態系で大きな役割を果たす両生類を中心に、地域の自然環境特性を考慮した持続可能かつ生物多様性に効果的な農法の提案を目指します。佐渡特有の性質をもつ両生類の生態など、基礎面からも佐渡の貴重な自然を評価していきたいです。



寄附講座教員
新潟大学特任准教授 桑原 考史
新潟県出身。2003年東京農工大学農学部卒業、2008年東京農工大学博士(農学)。専門分野: 農業経済学(主な研究テーマは、野生動物管理、農村ツーリズム等)

朱鷺をシンボルとした地域創りに向けて、農家の経済活動や地域住民の合意形成の在り方について研究を行います。農業・農村の現場に密着して調査を行い、佐渡市の振興に資する研究成果を還元したいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。



寄附講座教員
新潟大学特任助教 小林 頼太
千葉県出身。1999年東邦大学理学部卒業、2008年東京大学博士(農学)。専門分野: 動物生態学(主な研究テーマは、両生爬虫類の個体群動態と管理等)

水田生態系で大きな役割を果たす両生類を中心に、地域の自然環境特性を考慮した持続可能かつ生物多様性に効果的な農法の提案を目指します。佐渡特有の性質をもつ両生類の生態など、基礎面からも佐渡の貴重な自然を評価していきたいです。

環境・経済好循環分野研究チーム 構成員



※ 佐渡市は、研究チームに所属する教員等とともに「環境・経済好循環推進戦略委員会(仮称)」を設置し、教育・研究支援および施策への反映を図ります。

① 環境保全型農法の検討と普及啓発に関する研究

西川 潮(新潟大学) 小林 頼太(新潟大学) 柘植 隆宏(甲南大学)

....

② 農林水産物の品質の安定性の評価(水稻の食味評価)

大坪 研一(新潟大学)

③ 農林水産物の市場形成と拡大に関する調査研究

桑原 考史(新潟大学) 氏家 清和(筑波大学) 経済学分野教員(新潟大学)

...

④ 農地の順応的管理システムの検証

西川 潮(新潟大学) 桑原 考史(新潟大学) 小林 頼太(新潟大学)
横溝 裕行(国立環境研究所) 柘植 隆宏(甲南大学) 大坪 研一(新潟大学)
氏家 清和(筑波大学)

